



令和8年4月8日
富士宮市立貴船小学校
学校だより 第1号
児童数 490人

こどもの成長を支える「伴走者」として

春光うららかな季節、お子様のご入学・ご進学を心よりお祝い申し上げます。新しい教室、新しい仲間との出会いに瞳を輝かせるこどもたちの姿から、令和8年度が力強く動き出しました。

本校は、学校教育目標「共に 未来を創る子」の具現化に向け、教職員がこどもの成長を支える「伴走者」となり、「誰一人取り残されない教育」を推進します。ガイドを必要とするランナーを支える伴走者のように、こども一人一人の歩みに寄り添い、安全の確保や心の支援、環境整備に努めます。多様なニーズをもつ全児童が、自分らしく安心して学び、主体的に自走できる学校を、家庭や地域と手を取り合い組織的に築いてまいります。

学校経営方針：安全・安心な学校を目指す「3つの柱」

「誰一人取り残されない教育」を実現するため、本年度は以下の3つの柱でこどもたちを支えてまいります。

① 地域・家庭と共に成長を支える

* 「架け橋」の構築

園・小・中の接続を意識した「架け橋プログラム」により、円滑な進学・進級を支援します。

* 組織的な連携

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を中心に、地域・家庭と教育方針を共有し、社会全体でこどもを育む体制を整えます。

② 特別支援教育で成長を支える

* 「見て分かる」授業

ユニバーサルデザインの視点（視覚化・共有化・焦点化）を取り入れ、全てのこどもが「分かった！」と実感できる学びをデザインします。

* 専門的チーム支援

スクールカウンセラー等と連携し、個々の特性に応じたきめ細かな支援計画を実行します。

③ 発達支持的生徒指導で成長を支える

* 「先手型」の関わり

問題が起きてから動くのではなく、日頃からこどもの良さや可能性を見つける指導を徹底します。

* 自己肯定感の育成

自分で考え決定する場、互いを認め合う人間関係づくりを大切に、心の安全・安心を確保します。

今年も、保護者の皆様、地域の皆様との対話を大切に、こどもたちの笑顔があふれる学校づくりに邁進いたします。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

校長 岩垣 俊哉

貴船小に着任して間もないですが、学校を温かく見守り、日々力強く支えてくださっている地域・保護者の皆様の存在の大きさを、日々の生活の中で実感しております。そのような恵まれた環境の中で、春の始まりとともに、こどもたちと出会い、共に過ごしていけることを大変うれしく、また楽しみにしております。こどもたち一人ひとりの思いや歩みに寄り添い、時に励まし、時に共に立ち止まりながら進む「伴走者」の一員として、教職員、保護者、地域の皆様と手を取り合い、共に学び、歩んでいきたいと考えております。 文責 教頭 小川